



2009年6月16日

ご投資家各位

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

スパークス・ロング・ショート・ストラテジー・ファンド申込単位変更について

弊社では2002年3月19日に、わが国の株式市場および金利動向にかかわらず、投資対象有価証券の価格変動リスクを極力回避し、絶対値基準での信託財産の中・長期的に安定的な成長を図ることを目標として運用を行う、追加型投資信託スパークス・ロング・ショート・ストラテジー・ファンド（以下「ファンド」）を設定いたしました。

設定来約7年が経過いたしました。より多くのご投資家の皆様に資産形成の一助として検討いただけるように、当初の申込単位500万円以上を、このたび100万円以上に引き下げることにいたしました。

昨今の低金利、株価の低迷という状況下で、株式の買建て（ロング）と売建て（ショート）を同時に保有することにより、市場全体の上昇・下落に関わらず、安定的にリターンをあげることを目指す当ファンドをより多くのご投資家の皆様に資産形成の一助としてご検討いただくことが可能となることは、時宜を得たものと考えております。

また、上記のようなロング・ショート戦略でありながら、設定・解約は毎営業日に可能なことから、換金性に秀でた当ファンドは信用不安等を懸念されるご投資家の皆様の資産運用ニーズにもマッチしたファンドであると考えております。

引き続き、徹底的なボトムアップ・リサーチに基づく銘柄評価をベースとした運用により、絶対値基準での信託財産の中・長期的に安定的な成長を図ることを目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

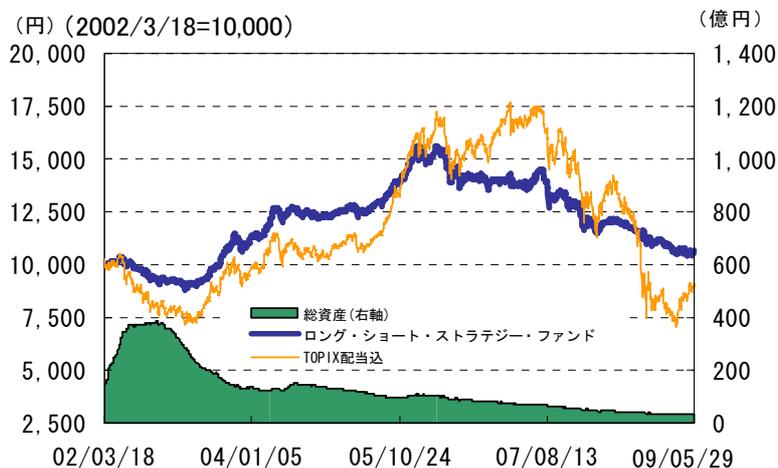
本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【スパークス・ロング・ショート・ストラテジー・ファンドの運用状況について】

スパークス・ロング・ショート・ストラテジー・ファンド（以下「ファンド」）の設定日から2009年5月末日迄の騰落率は6.64%の上昇という結果になり、同期間のTOPIX（配当込）が-8.88%とマイナスであった環境下においても絶対収益を確保いたしました。一方で同期間の年率換算リスクはファンドが9.07%であったのに対して、TOPIX（配当込）のリスクは23.86%と市場全体と比較すると非常にリスク抑えた結果となっており、ファンドの運用目標である、絶対値基準での信託財産の中・長期的に安定的な成長を実現してまいりました。

【基準価額および純資産額の推移】(2002年3月18日～2009年5月29日)



※当ファンドはTOPIX（配当込）をベンチマークとするものではありません。

※基準価額は、信託報酬および実績報酬等控除後です。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※出所：スパークス・アセット・マネジメント

	ロング・ショート・ストラテジー・ファンド	TOPIX(配当込)
設定来騰落率	6.64%	-8.88%
年率換算リスク	9.07%	23.86%

この運用成績の要因としては、相場の下落局面において下落を避けつつ、相場の上昇局面においては結果として市場の上昇に追随した運用となったことが挙げられます。それを実現することができたのは、弊社が創業以来一貫して行なってきた、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄選択と、それに起因するファンド全体のエクスポージャー管理が挙げられますが、以下でファンド設定来からの相場下落局面、上昇局面における、具体例をご案内したいと思います。

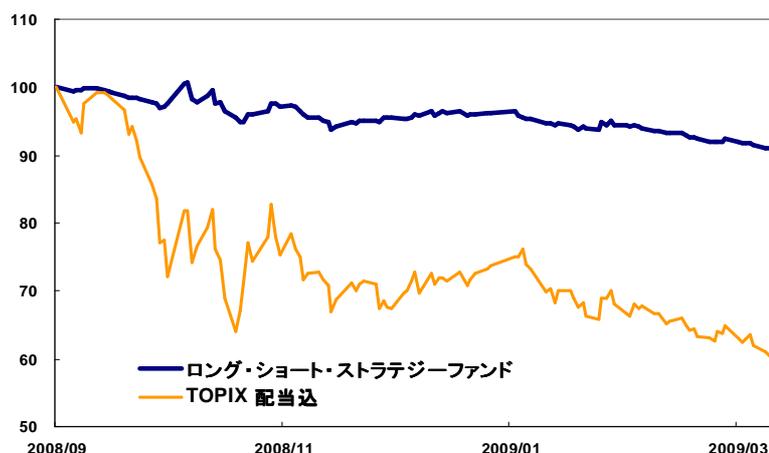
本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



最初に直近の相場の下落局面を見てみますと、2008年9月15日にアメリカの大手投資銀行リーマン・ブラザーズが、サブプライムローン問題などの影響で経営破綻し、その後世界中の株式市場が大きく値を下げ、日本の株式市場も、2009年3月10日には日経平均株価で7,054円98銭とバブル崩壊後安値を更新するまで売り込まれました。そして同期間（2008年9月12日～2009年3月10日）のTOPIX（配当込）の騰落率は-39.66%と約4割近くも下落した一方で、同ファンドは-8.99%と下落はしたものの、下落を最小限に食い止めることができたものと考えております。

【ファンドとTOPIX(配当込)の推移】(2008年9月12日～2009年3月10日)

(2008/9/12=100)



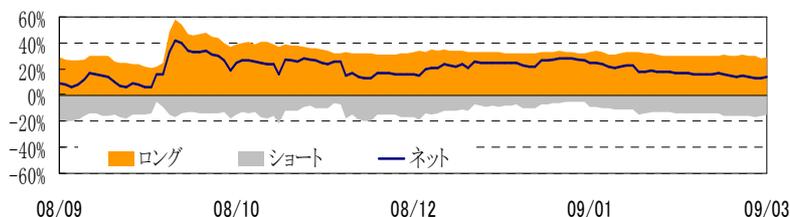
※当ファンドはTOPIX（配当込）をベンチマークとするものではありません。

※基準価額は、信託報酬および実績報酬等控除後です。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※出所：スパークス・アセット・マネジメント

【ファンドのポジション推移】(2008年9月12日～2009年3月10日)



この要因としてはあらかじめ相場の下落を想定し、株式の買建て（ロング）のウェイトを引き下げ、売建て（ショート）のウェイトを引き上げることで、ネットのポジションを低く抑え、市場の下落がファンドに与える影響を最小限に抑えるポートフォリオを構築できていたことが挙げられます。この期間のネットのエクスポージャーは最小で一桁台と市場全体の動きの影響が小さなポジションとなっており、市場が下落する中で、ファンドの下落をできる限り回避しようと努めておりました。

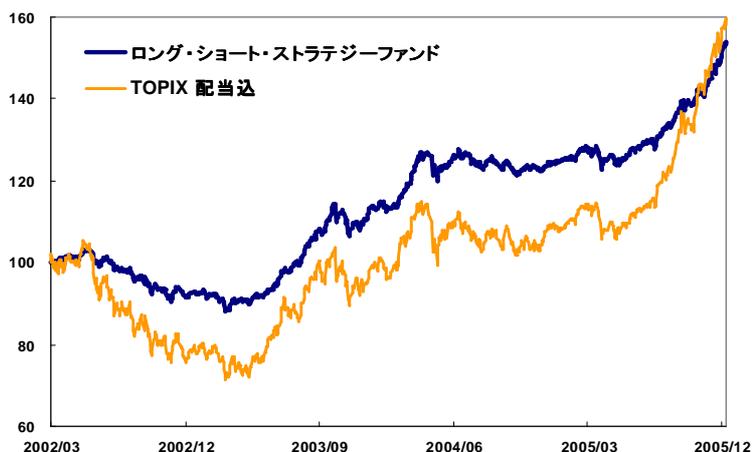
本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



また相場が上昇する局面では、ネットのエクスポージャーを高めに取り、市場の上昇に追随いたしました。ファンド設定日の2002年3月18日から2005年末までの間にTOPIX（配当込）は58.36%上昇いたしました。ファンドは53.43%と多少アンダーパフォームしているものの、市場と比べ遜色のない上昇をしており、かつ同期間の年率換算リスクに関しては市場と比べ非常に低い数字となっております。

【ファンドとTOPIX(配当込)の推移】(2002年3月18日～2005年12月30日)

(2002/3/18=100)



	ファンド	TOPIX (配当込)
騰落率	53.43%	58.36%
年率換算リスク	7.52%	17.75%

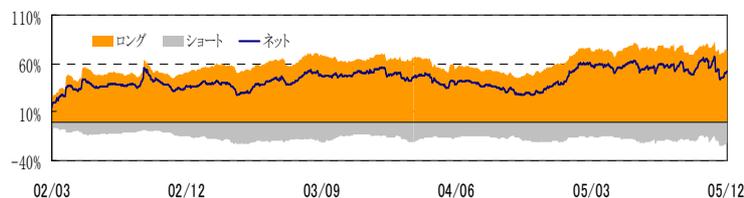
※当ファンドはTOPIX（配当込）をベンチマークとするものではありません。

※基準価額は、信託報酬および実績報酬等控除後です。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※出所：スパークス・アセット・マネジメント

【ファンドのポジション推移】(2002年3月18日～2005年12月30日)



同期間においては相場の上昇を予想し、株式の買建て（ロング）のウェイトを引き上げ、売建て（ショート）のウェイトを引き下げることで、ネットのポジションを高位に保ち、最大で60%以上のエクスポージャーを取ることで市場の上昇に追随いたしました。

このように相場の上昇局面においては、リスクを抑えつつ、ネットのエクスポージャーを引き上げ、積極的に相場上昇による値上がり益の獲得を目指します。

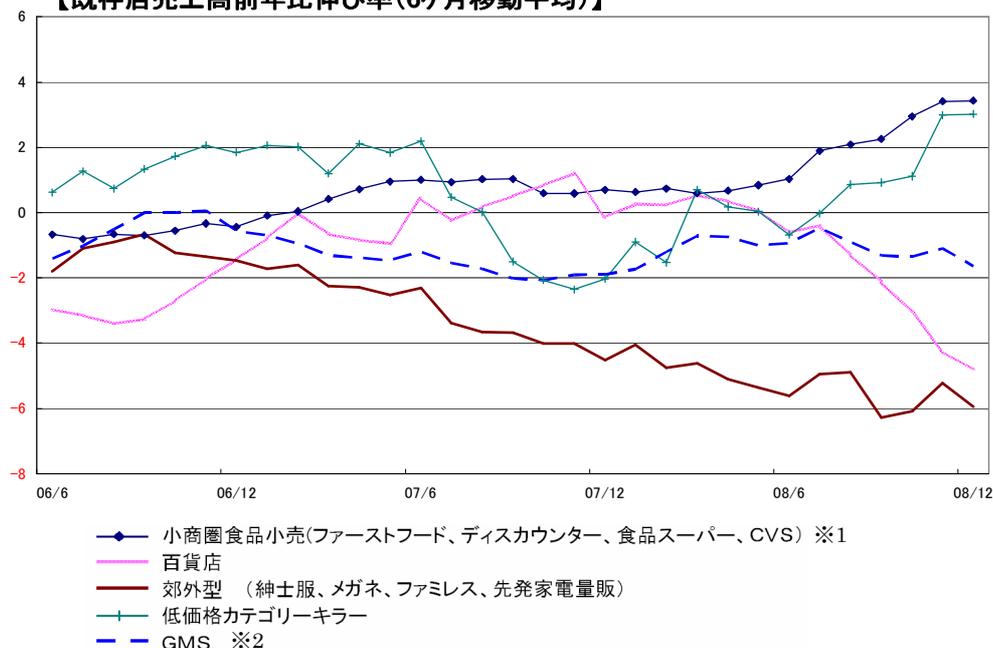
本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



そして実際の投資に際しては、ボトムアップ・リサーチによって個別銘柄を一つ一つ徹底的に調べ、株価が割安だと考えられる銘柄の買建て（ロング）、割高だと考えられる銘柄の売建て（ショート）を行います。その銘柄の積み上げによって、ロングの銘柄が多ければネットエクスポージャーが上がり、ショートの銘柄が多ければネットエクスポージャーが下がることとなります。この個別銘柄の選択こそがこのファンドの最も大きな収益の源泉であると私どもは考えております。

またロング・ショート戦略は勝ち組・負け組の二極化が進む現在の環境下では非常に有効な投資戦略であると考えております。下記の図はあくまで一例ではありますが、小売業界の売上高推移を表したものです。同じ小売業界においても百貨店や郊外店のように売上を大きく落としている業種がある中で、オリジナリティがあり、価格競争力のある企業は売上を伸ばしております。小売業界の中での、オリジナリティや価格競争力のある企業をロングし、そうでない百貨店や郊外店等をショートするといったような投資機会が、他の業界でも同様に存在していると考えられます。

(%) 【既存店売上高前年比伸び率(6ヶ月移動平均)】



※出所：各社資料及び報道資料を基に、スパークス・アセット・マネジメント作成。(2008年12月末現在)

※1 CVS：コンビニエンスストアの略。 ※2 GMS：日用品を中心に、商品を総合的に揃えた大型小売店のこと。

このような状況を好機と捉え、次の局面で大きく活躍できる企業とそうでない企業を徹底したボトムアップ・リサーチにより発掘し、今後も投資していきたいと考えております。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



お申込みメモ (お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

- ファンド名 スパークス・ロング・ショート・ストラテジー・ファンド
- 商品分類 追加型投信／国内／株式／特殊型(ロング・ショート型)
- 信託期間 平成14年3月19日から平成24年3月19日
- 繰上償還 残高口数が30億口を下回ることとなった場合などには約款所定の手続きを経たうえで、信託期間の途中で信託を終了(繰上償還)させていただきますことがあります。また、委託会社は信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときには、受託会社と協議の上、信託期間を延長することができます。
- 決算日 毎年3月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、販売会社の定める所定の日よりお支払いいたします。
- お申込み時間 販売会社で毎営業日お申込みいただけます。原則として、お申込み時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
- お申込み単位 新規申込：100万円以上1円単位
追加申込：1万円以上1円単位
※お申込み単位は別に定める場合この限りではありません。
- お申込み価額 お申込み受付日の基準価額
- 解約のご請求 販売会社の毎営業日に1口単位で解約を請求することができます。原則としてお申込み時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
※1顧客1日当たりの解約の金額に制限を設ける場合や一定の金額を超える解約の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。わが国の金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止させていただく場合があります。
- 解約価額 解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 解約代金の受渡日 解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 課税上の取扱い(個人) 当ファンドは課税上は株式投資信託として取扱われます。課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
※法人の受益者に対する課税は、販売会社にお問い合わせください。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



お客様にご負担いただく手数料等について

* 下記手数料等の合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込み時】

■お申込み手数料

お申込みの金額に応じて、下記の手数料率を申込受付日の基準価額に乗じて得た額です。なお、お申込み手数料と当該手数料に係る消費税等相当額は、お申込み金額の中から差し引かせていただきます。ただし、収益分配金の再投資により取得する口数については手数料がかかりません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

1億円未満	: 3.1500% (税抜 3.00%)
1億円以上 5億円未満	: 1.5750% (税抜 1.50%)
5億円以上 10億円未満	: 0.7875% (税抜 0.75%)
10億円以上	: 0.5250% (税抜 0.50%)

※ お申込み手数料は別に定める場合この限りではありません。

【ご解約時】

- 信託財産留保額 解約請求受付日の基準価額に 0.5%の率を乗じた金額
- 解約手数料 なし

【保有期間中】 (信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬

純資産総額に対して年率 1.995%(税抜 1.9%)

■実績報酬

基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、当該基準価額と当該ハイ・ウォーター・マークの差額の 21%(税抜 20%)を費用計上。実績報酬は半期毎に信託財産から支払われ、ハイ・ウォーター・マークも半期毎に見直されます。

■その他の費用等

- (1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用

[純資産総額に対し上限年率 0.1%(税込)]

- (2) 有価証券売買時の売買委託手数料
- (3) 売建て(ショート)実行に伴い品貸料等の費用がかかります。

(2)、(3)はファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書（目論見書）および目論見書補完書面の内容をよくお読みください。投資信託は、預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は、投資者保護基金には加入しておりません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。

ご留意事項

上記に記載しているリスクや費用の項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が設定・運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。

投資信託の取得のお申込みをする場合には、販売会社から投資信託説明書（目論見書）および目論見書補完書面をあらかじめお渡ししますので、必ずお受取りになり、投資信託説明書（目論見書）等の内容をよくお読みいただいた上、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みください。

販売会社：日興コーディアル証券株式会社

【商号等】 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 129 号

【加入協会】 日本証券業協会 （社）日本証券投資顧問業協会 （社）金融先物取引業協会

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。